



キャリアナビだより

ミライのとびら

令和3年5月
キャリアナビゲーター
中村 彩可

学校が始まって1か月が経ちました。学校での生活になれてきた頃でしょうか。学級では学級委員や係が決まり、委員会活動では委員長が決まりました。みんなでよい学校を作っていくために中心になって学校を引っ張っていく人たちも決まり、今年の矢田小学校が始動しました。



さて、ところで『よい学校』ってどんな学校？

『よい学校』とは『みんなが気持ちよく過ごせる学校』ということを校長先生が教えてくださいました。全員勉強ができるとか、全員言われた通りにできるとか、失敗や間違いをしないということが『よい学校』ではない、ということです。もちろん勉強も大切ですが、日々の生活の中での失敗や間違いから学ぶことも勉強といい、学校はそれを学ぶ場所でもありますね。



じゃあ、『過ごしやすい学校』にしていくために どうしたらいい？

校長先生は、みんなが過ごしやすい学校を作っていくためには『自分で考える』ことが大切だと教えてくださいました。矢田小学校には、457人の児童がいます。『みんなが過ごしやすい学校』といっても、一人ひとり過ごしやすいと感じるところが違い、全員が同じ意見、考え、気持ちになるということは、なかなか難しいことです。だから、一人ひとりが考える必要があります。

例えば…



自分で考えるって、何を考えるの？

- 困っている人はいないかな。助けてほしい、協力してほしいと思っている人はいないかな。
- 相手はどんな気持ちになるかな、自分だったら、どう思うかな。
- 同じことを思っていたり感じていたりする人はいないかな、同じ考えの人と協力し合えないかな。
- できる方法や解決できる方法はないかな。そのために自分はどんなことができそうかな。

おまけの話



- 正解はないです。まずは自分の考えを伝えてみる、相手の考えを聞いてみるのが大事！
- 自分が思っていることを伝えてみると、協力してくれる人もできることも増えるかも！
- 『自分で考える』って、中学校にいても大人になってもとても大事で必要なこと。

新年度が始まり、1か月が経ちました。連休から始まった5月ですが、お子様も新しい学年、新しい学級にも慣れてきた頃でしょうか。昨年の休校以前の様子から、休校中、学校再開後の1年を思い返すといろいろなことが思い出されます。新学年とはいえ、新しい生活様式のままスタートした生活は、子どもたちにとっては少し窮屈に感じるかもしれません。しかし、このような状況下において、子どもたちには今までとは違う芽が育ち始めているのも事実で、その適応力のすごさには驚かされるばかりです。

令和の教育のキーワードの一つ 「協働」

「協働」とは、複数の者が目標を共有し、お互いに尊重し合い、助け合い、力を合わせて活動すること。

少子高齢化、人口減少、人々の生活スタイルの変化などの影響により、「協働」していくことが必要な時代です。

- ……対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えるときも、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができること。
- ……家庭の役割や責任を明確にしつつ具体的な連携を強化するとともに、地域と連携・協働して地域と一体となって子供たちを育む、地域とともにある学校への転換を図ることが必要である。
- ……対話的な学びについては、例えば、実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりする活動の一層の充実が期待される。
- ……他者との協働や伝え合い交流する活動は、一人一人の子供の学びを質的に高めることにもつながる。

平成 28 年 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）

令和 3 年度、目指すべき新しい時代の学校教育の姿として「すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（※）」が提言されました。ここでいわれる協働とは、子ども同士、家庭、学校、地域社会、外部人材と多岐にわたります。家庭が全ての教育の出発点であり、そこでの関りが土台となっていくものですが、様々な人との関りが学びの質を高めることにつながり、さらには子ども自身もつ成長しようとする潜在的な力を引き出すことにもつながっていくのではないのでしょうか。

※令和 3 年「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」

アンケートにご協力いただきありがとうございました

ご意見ありがとうございます。学校と相談しながら引き続き取り組んでまいります。

いただいた
コメント

- 子どもに、キャリアナビゲーターに聞いてみるといいよと、言ってもなかなか聞けない、どう聞いていいかわからない。と、言うことがあるので、子どもに対して定期的にアンケートなどをもって、声掛けをしていただくとありがたいです。
→ 学校とも相談をして、どのような取り組みをしていけるとよいか検討していきたいと思えます。
- プリントだけ頂いても、実際に何をしているかわかりません。
→ 今後、定期的に紹介していきます。

こんなこと
やってほしい

- 学校内でできるライフキャリアに関するイベント
- 放課後のキャリア形成支援に関わるイベント（対象：児童）
- ライフキャリアに関する保護者向け講演会
→学校とも相談をし、検討していきたいと思えます。

